

女性のエンパワーメント事業【鹿児島県】

個別事業費	6,862千円
交付金額	3,431千円

地域の実情と課題

(1) 職場

- ・ 固定的な性別役割分担意識に基づくアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)や長時間労働を中心とした労働慣行(男性中心型労働慣行)により、女性に家事・育児・介護等の負担が偏っており、女性が能力を十分に発揮して働くことが困難となっている。
- ・ 女性の労働力率の状況において、出産・育児期の就業中断による「M字カーブ」は改善されつつあるが、子育て期以降は、パートタイム労働等の非正規雇用の割合が高い。

(2) 地域

- ・ 議員や県・市町村の管理職、地域コミュニティ組織の長などに占める女性の割合は依然低く、政策・方針決定過程への女性の参画は進んでいない。
- ・ 固定的な性別役割分担意識に基づく制度や慣習に基づいて、女性は職場や地域等において、補助的な役割を期待され、その役割を担わされることが多い。

事業の特徴

女性ワーキンググループにおいて、協議・意見交換を行い、各種セミナー等の事業に反映させることにより、当県の実情に応じた取組の効果的な推進が期待できる。

企業経営者や管理職向けに実施する職場におけるジェンダー平等推進事業と併せて、本事業の各種セミナーの広報及び参加促進を図る。一企業からトップ・管理職・女性社員が参加するよう働きかけを行うことで、企業内の気運醸成につなげる。

今後の課題

女性の意識向上や能力開発、ネットワーク構築に対する継続的な支援が必要。

セミナー後の参加者の動向が追えず、その後の現状把握(具体的行動がなされているか等)が困難であったため、半年～1年後を目安に、今年度の受講者に対してアンケートを実施することとしている。

事業の効果

それぞれのセミナーで対象を分け、よりニーズに合った内容とすることにより、幅広い世代、様々な状況にある女性にアプローチすることができた。

また、女性のエンパワーメントに向けて、理解の共有が不可欠な内容については対象を女性に限定せずに、公開講座として実施した。そのことにより、ジェンダー平等の実現に向けて、女性のエンパワーメント支援が重要であることや、ジェンダー主流化に向け、ジェンダー視点を磨くことの重要性を多様な主体と共有できた。

オンライン受講やアーカイブ配信を実施したことで、地理的・時間的な制約を緩和し、受講しやすい環境を提供できた。

目的・目標

(目的)

ジェンダー平等の推進を図る観点から、女性のスキル向上やネットワークの構築に関する各種セミナーや交流会を開催し、様々な分野における女性の参画を支援する。

(目標)

- ・ 就業やキャリアアップの意欲・意識が向上した受講者の割合 70%
- ・ 管理職への昇進意欲や仕事へのモチベーションがアップした受講者の割合 70%
- ・ 議員や地域コミュニティ等のリーダー等を目指し具体的に行動した受講者の割合 50%
- ・ 起業に向けて具体的に行動した受講者の割合 50%

連携団体

鹿児島県女性活躍推進会議
(構成団体)

鹿児島県商工会議所連合会、鹿児島県商工会連合会、鹿児島経済同友会、鹿児島県経営者協会、鹿児島県中小企業団体中央会、鹿児島県農業協同組合中央会、鹿児島県漁業協同組合連合会、鹿児島県森林組合連合会、鹿児島大学、鹿児島労働局、鹿児島県市長会、鹿児島県町村会

女性のエンパワーメント事業①

○ 女性のキャリアデザインセミナーの開催

(1) 目的

- ・ 女性の就職・就業継続やキャリア形成の支援
- ・ 参加者同士のネットワークづくり

(2) 対象

就業している女性又は就業しようとする女性

(3) 内容

- ① 「自分のキャリアを考える」(R5.10.28)※
 - ・ 講師: 臼井 泰子氏(ライフキャリアコンサルタント)
 - ・ 参加者: 17人(うちweb8人)
- ② 「自分の働き方を考える」(R5.11.23)※
 - ・ 講師: 村田 史子氏(Toiro代表/Enjoy!転職ライフ代表)
 - ・ 参加者: 12人(うちweb1人)
- ③ 「キャリアプランをつくる」(R5.12.23)
 - ・ 講師: 臼井 泰子氏(ライフキャリアコンサルタント)
 - ・ 参加者: 12人
- ④ 「応援しあえる繋がりをつくる」(R6.1.27)※
 - ・ 交流会
 - ・ 参加者: 10人

※は、女性の起業支援セミナーと合同開催



○ 働く女性のマネジメントセミナーの開催

(1) 目的

- ・ 管理職として必要なマネジメント能力を含む能力向上支援
- ・ 参加者同士のネットワークづくり
- ・ 働く女性を支える、事業所を超えたメンターの育成

(2) 対象

管理職や管理職候補の女性、管理職を目指す女性

(3) 内容

- ① 「Kickoffセミナー」(R5.12.2)★※
 - ・ 講師: 大崎 麻子氏(ジェンダー・スペシャリスト)
 - ・ 参加者: 19人(うちweb9人)
- ② 「キャリアの棚卸し」(R5.12.10)
 - ・ 講師: 松崎 陽子氏(キャリアコンサルタント)
 - ・ 参加者: 14人
- ③ 「Her Stories」(R5.12.23)
 - ・ 講師: 県内で管理職をしている女性、
管理職として働いた経験がある女性
 - ・ 参加者: 11人
- ④ 「風通しの良い職場でチーム力を高めるために
～アサーティブに話そう～」(R6.1.7)※
 - ・ 講師: 高崎 恵氏(アサーティブ・トレーナー)
 - ・ 参加者: 15人
- ⑤ 「これからの経営に不可欠な女性のキャリア形成と健康支援」(R6.1.20)★
 - ・ 講師: 有馬 牧子氏(昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授)
 - ・ 参加者: 25人(すべてweb)
- ⑥ 「Closingセミナー・交流会」(R6.3.2)※
 - ・ 講師: 大崎 麻子氏(ジェンダー・スペシャリスト)
 - ・ 参加者: 9人(うちweb2人)



★は公開講座

※は地方自治を担う女性のエンパワーメントセミナー、女性のデジタル入門セミナーと合同開催

女性のエンパワーメント事業②

○ 地方自治を担う女性のエンパワーメントセミナーの開催

- (1) 目的
 - ・ 地方自治・地域経営の中心的担い手となる女性の育成
 - ・ 参加者同士のネットワークづくり
- (2) 対象
 - ・ 地域自治組織やNPO活動実践者
 - ・ 地方自治体職員
 - ・ 政治参画を目指す女性 等
- (3) 内容
 - ① 「Kickoffセミナー」(R5.12.2)★※
 - ・ 講師:大崎 麻子氏(ジェンダー・スペシャリスト)
 - ・ 参加者: 28人(うちweb15人)
 - ② 「すべての人が生きやすく、生きがいのあるまちへ～ジェンダーギャップの解消に向けた豊岡市の取組～」(R5.12.9)★
 - ・ 講師:原田 紀代美氏
(兵庫県豊岡市役所 ジェンダーギャップ対策室室長補佐)
 - ・ 参加者: 30人(うちweb20人)
 - ③ 「ちがいを超えて新たな価値を創造するために～アサーティブに話そう～」
(鹿児島会場 R5.12.24 奄美会場 R6.1.14)
 - ・ 講師:高崎 恵氏(アサーティブ・トレーナー)
 - ・ 参加者: 11人(R5.12.24), 9人(R6.1.14)
 - ④ 「政策立案演習 “わたし”のことから“わたしたち”のことへ」
(鹿児島会場 R6.2.10, R6.2.18 奄美会場 R6.2.3, R6.2.4)
 - ・ 講師:たもつ ゆかり氏(かごしま女性政策研究会 代表)
 - ・ 参加者: 11人(R6.2.10), 8人(R6.2.18)
5人(R6.2.3), 5人(R6.2.4)
 - ⑤ 「Closingセミナー・交流会」(R6.3.2)※
 - ・ 講師:大崎 麻子氏(ジェンダー・スペシャリスト)
 - ・ 参加者: 16人(うちweb6人)

★は公開講座

※は働く女性のマネジメントセミナー、女性のデジタル入門セミナーと合同開催

○ 女性の起業支援セミナーの開催

- (1) 目的
 - ・ 起業を考える女性の支援
 - ・ 参加者同士のネットワークづくり
- (2) 対象
起業を目指す女性
- (3) 内容
 - ① 「自分のキャリアを考える」(R5.10.28)※
 - ・ 講師:臼井 泰子氏(ライフキャリアコンサルタント)
 - ・ 参加者: 20人(うちweb8人)
 - ② 「自分の働き方を考える」(R5.11.23)※
 - ・ 講師:村田 史子氏(Toiro代表/Enjoy!転勤ライフ代表)
 - ・ 参加者: 12人(うちweb2人)
 - ③ 「事業アイデアをまとめる」(R5.12.16)
 - ・ 講師:中島 秋津子氏(株式会社STUDIO K代表取締役)
 - ・ 参加者: 13人(うちweb1人)
 - ④ 「起業に必要なお金を考える」(R6.1.13)
 - ・ 講師:山内 倫裕氏(鹿児島銀行/SMASH)
 - ・ 参加者: 10人(うちweb1人)
 - ④ 「応援しあえる繋がりをつくる」(R6.1.27)※
 - ・ 交流会
 - ・ 参加者: 10人

※は、女性のキャリアデザインセミナーと合同開催

○女性ワーキンググループ会議による協議(R5.9.5,R6.2.9)

- (1) 目的
県女性活躍推進会議に設置している女性ワーキンググループにおいて、ジェンダー平等推進に係る地域の実情に応じた効果的な取組等について意見交換を行い、県の施策・事業に反映させる。
- (2) 構成員
県内企業の30～40代の働く女性 12人